中国新聞 2026年3月17日 火曜日 面名 広島都市圏 地方 24ページ

地震の体験

留学生が防災訓練

消火器操作

叡啓大（広島市中区）は13日、留学生を対象にした防災訓練を安佐北区の市総合防災センターで初めて開いた。地震の体験や消火器の操作を通じ、非常時に命を守る知識や技術を学んだ。

震度6弱の揺れの中、机の下に避難する留学生

安佐北区 叡啓大の9人

メキシコやバングラデシュ、コロンビアなど6カ国の1～3年生計9人が参加。センターの担当者が地震や火災が発生する仕組みを説明した。台所を模した専用の装置で震度6弱の揺れを体験。机の下に潜って安全を確保した後、避難時に火の始末やブレーカーを落とす大切さを教わった。訓練用の煙が充満した屋内から避難したり、消火器を使ったりする訓練もあった。

同大は今後も留学生に訓練への参加を呼びかける。ミャンマー出身の2年カインミントミャットさん(25)は「母国では昨年、大きな地震があった。非常用の物資をそろえるなど、できる対策を進めたい」と話していた。

（政綱宜規）

(C) 中国新聞社 無断転載、複製及び頒布は禁止します。